

アドプト実施団体にインタビュー！

平成21年度から「ひょうごアドプト」の活動団体として、宝塚市内の武庫川左岸、荒神川合流点から宝塚新大橋までの約700mのエリアで河川敷の草刈りを中心に活動されている、美座自治会長の石川さんにインタビューしました！

石川さんのグループでは、同様の活動を行っている近隣の団体と連携し、地域住民の憩いの場である武庫川の環境保全や防犯対策に取り組むとともに、一昨年から、これらの取り組みを広く市民に知っていただくためのイベント「ひょうごアドプトチャリティフェスタ」を開催されています。



Q1 アドプト活動を始めたきっかけは何ですか？

A1 武庫川河川敷の利活用が言われていますが、以前は雑草が生い茂っていました。利用を考える前に、まず草刈りを行って利用しやすいように整備することが必要だと思い、自治会メンバーのうちの2名が自前で草刈りを始めたのがそもそものきっかけです。ただ、始めたものの、なかなかはかどらず、万が一事故等が起きたときの不安もありました。何か良い方法はないかと市役所に相談に行ったところ「ひょうごアドプト」を紹介されました。

Q3 継続していくのは大変なことだと思いますが、なぜ、続けていけるのですか？ やりがいを感じるのはどんなときですか？

A3 自然との取り組みであり、継続することは大変ですが、以前と比べると見違えるほど美しくなり、河川敷を利用する方が増えたことは嬉しく思います。また、アドプト活動を通じて、隣接する団体との絆が強化されました。この基盤を活用し、災害時の相互援助活動等に応じていければさらにやりがいのある事業になると思います。

Q2 アドプト活動を実施するに当たっての課題やそれに対する工夫等がありますか？

A2 すべてボランティア活動なので、仲間同士のコミュニケーションが大切です。個人の都合を重視し、計画的に活動しています。課題は種々ありますが、当面は後継者作りが大きな課題です。

Q4 最後に今後の展望や行政へのご意見などをお願いします。

A4 宝塚市全体を通じ、少し活気がないように思っています。行政主導でなく、地域での特性を生かした地域からの行動で活性化を図るので、県や市には側面からの支援をお願いしたい。



石川市雄(いしかわいちお)氏
美座自治会長(H13.4～)

スポーツクラブ21美座の会長や宝塚市立小浜工房館副運営委員長など、地元で様々な地域活動をされています。

<道路や河川などの日常管理のボランティア活動を応援する“ひょうごアドプト”>

“アドプト”とは、自分の子どもとして受け入れるという意味の英語です。公共エリアを「養子」、県民のみなさんを「里親」とみ立て、地域や企業と行政が役割分担をして、身近にある区域を自分の子どものように、お世話していただき、地域への愛着感を持ち新たなコミュニティのつながりを作ることを目的とした事業です。

街を知る、地域を知る

MY TOWN

猪名川
宝塚 川西
三田 伊丹

2011年 10月 vol.19



写真 武庫川を渡る阪急今津線と中州の『生』のオブジェ ※映画「阪急電車」のロケを機に学生や市民の手で『生』のオブジェが復活されています

内容

地域の魅力発見(バラエティー豊かな中山山系ハイキングコース)
県道川西インター線の整備～利便性・快適性の向上へ～
猪名川における「ひょうごの川・自然環境調査」
緑のまちづくりを支援する「県民まちなみ緑化事業」

MY TOWN

発行日／2011年10月
発行／兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所
〒665-8567 兵庫県宝塚市旭町2丁目4番15号
TEL 0797-83-3101(代表)
FAX 0797-86-4329
E-mail: takarazukadoboku@pref.hyogo.lg.jp

地域の魅力発見

～バラエティー豊かな中山山系ハイキングコース～

宝塚は、毎年11月に実施される六甲全山縦走大会のゴール地点として山歩きの人達に知られていますが、今回はもっと手軽な中山山系の尾根を縦走するハイキングコースをご紹介します。道中には、ロープを伝って登るような所があったり、尾根からの眺望に感動したりと子供から大人までしっかり楽しめるコースになっています。



ハイキングコースの出発点は阪急山本駅です。住宅街を抜けると参道に入ります。大聖不動尊の土石造りの山門が現れ、辰巳橋を渡り右に行くと最明寺滝に出ます。そこでマイナスイオンを浴びながら少し休憩します。滝を出て少し歩くと急な岩場登りが始まるので、ここでしっかり準備運動をしましょう。



最明寺滝を出て辰巳橋まで戻りハイキングコースを進むと整備された階段と砂防堰堤が目の前に現れます。そこからしばらく歩くと三差路になっているので、中山最高峰と表示された方向に進むと急勾配でスリリングな岩登りが始まります。

ロープが設置されていますが、ロープを使わずにアタックも出来ます。(でもちょっぴり怖かったのか登り切ってから泣いている子供もいました)



岩登り



お昼休憩後出発

登りきると大パノラマで元気もりもり！
そこからはアップダウンの縦走路、中山最高峰を通過し、この付近でお昼休憩にします。

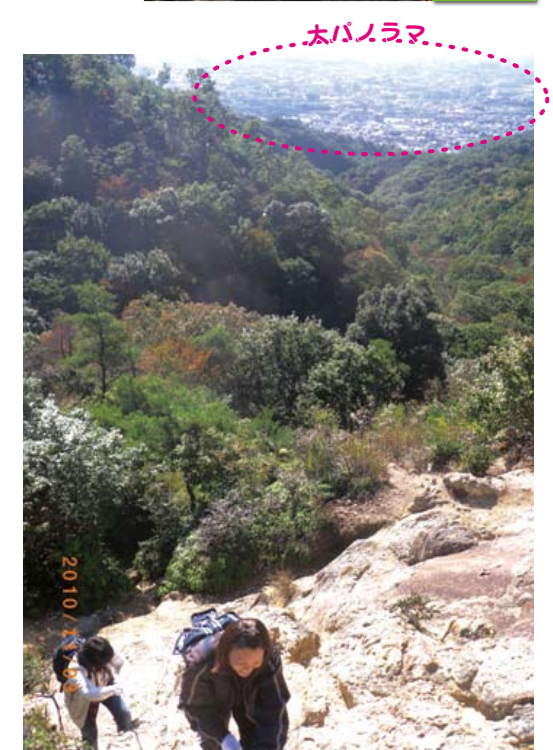
お腹もいっぱいになったらさあ出発。

中山奥の院を通過していざ清荒神の縦走路へ。最後の難関、大きく崩れたガレ場が何カ所か続いています。下り坂なので足場に気をつけてゆっくり慎重に進むと街並が見えてきます。最後のビューポイントで記念撮影。

ガレ場を抜けると右前方に住宅街(すみれが丘)が見えてきます。ハイキング道を抜け大林寺本堂を通りすぎしばらく歩くと清荒神大駐車場が目の前に現れます。



ガレ場にて



太パノラマ



ガレ場を抜けて記念撮影

清荒神参道商店街が見えて来たら最後の休憩、そこで食べるソフトクリームは最高です！

ゴールの阪急清荒神駅に到着。皆さんよく頑張りました。

今回のコースも含めて宝塚周辺には手近なコースが沢山あります。みなさんも是非チャレンジしてはいかがでしょうか。
〈写真協力 宝塚空手道体育クラブの皆さんでした。〉

猪名川における「ひょうごの川・自然環境調査」

「ひょうごの川・自然環境調査」は、定期的に河川の自然環境を把握し、人と自然が共生する川づくりを効果的に推進するため、兵庫県が県下主要14水系を対象に、平成14年度から進めている調査です。

猪名川では、県管理区間において、これまで平成16年度と平成22年度に調査を行っています。調査結果から、猪名川上流部では、魚類・底生動物、植物の多様性に富んだ自然環境が残されていることが分かりました。一方で、三面コンクリート張りなど河川形態が単調な支川の区間では、種数・個体数が少ない傾向が見られます。また、市街地の区間では外来種群落の生育も見られ、駆除等による拡大抑制が課題です。



緑のまちづくりを支援する

県民まちなみ緑化事業

都市地域で県民のみなさんが行う緑化活動を支援します！

事業概要

兵庫県では、都市における環境の改善や防災性の向上などを目的として、県民緑税を活用し、県民の皆さんによる植樹や芝生化などの緑化活動に対して支援を行う「県民まちなみ緑化事業」を実施しています。

県民の皆さんには、樹木などの植栽や植栽後の維持管理活動を行っていただきます。

対象事業

以下の緑化活動に必要な苗木や肥料などの緑化資材費等が補助対象となります。

- ① 一般緑化（植栽、生垣、修景）
空地、広場、公園、道路、河川沿いなどへの植樹
- ② 校園庭の芝生化
- ③ 駐車場の芝生化
- ④ 建築物の屋上緑化・壁面緑化



一般緑化



校園庭の芝生化



駐車場の芝生化



屋上緑化

対象地域

- ・都市計画法に規定する市街化区域
 - ・市街化調整区域のうち、特別指定区域・開発指定区域
 - ・用途地域が定められた区域 など
- ※②校園庭の芝生化は、県下全域が対象となります。

対象者

- ・自治会・婦人会・老人会などの住民団体
 - ・100㎡以上の緑化が可能な土地を所有（管理）する法人・個人 など
- ※②校園庭の芝生化は、PTA等の団体と学校等で構成される「芝生化実行委員会」に限ります。

補助条件

補助対象や補助限度額などを対象事業別に細かく定めていますので、詳しくは阪神北県民局宝塚土木事務所まちづくり建築課(TEL:0797-83-3191)までお尋ねください。

※平成23年11月30日(水)まで募集しておりますが、募集予定額を超えようとする時点で締め切ります。

※募集案内、申請書類等は兵庫県のホームページからダウンロードできます。

ホームページアドレス http://web.pref.hyogo.jp/town/cate3_203.html

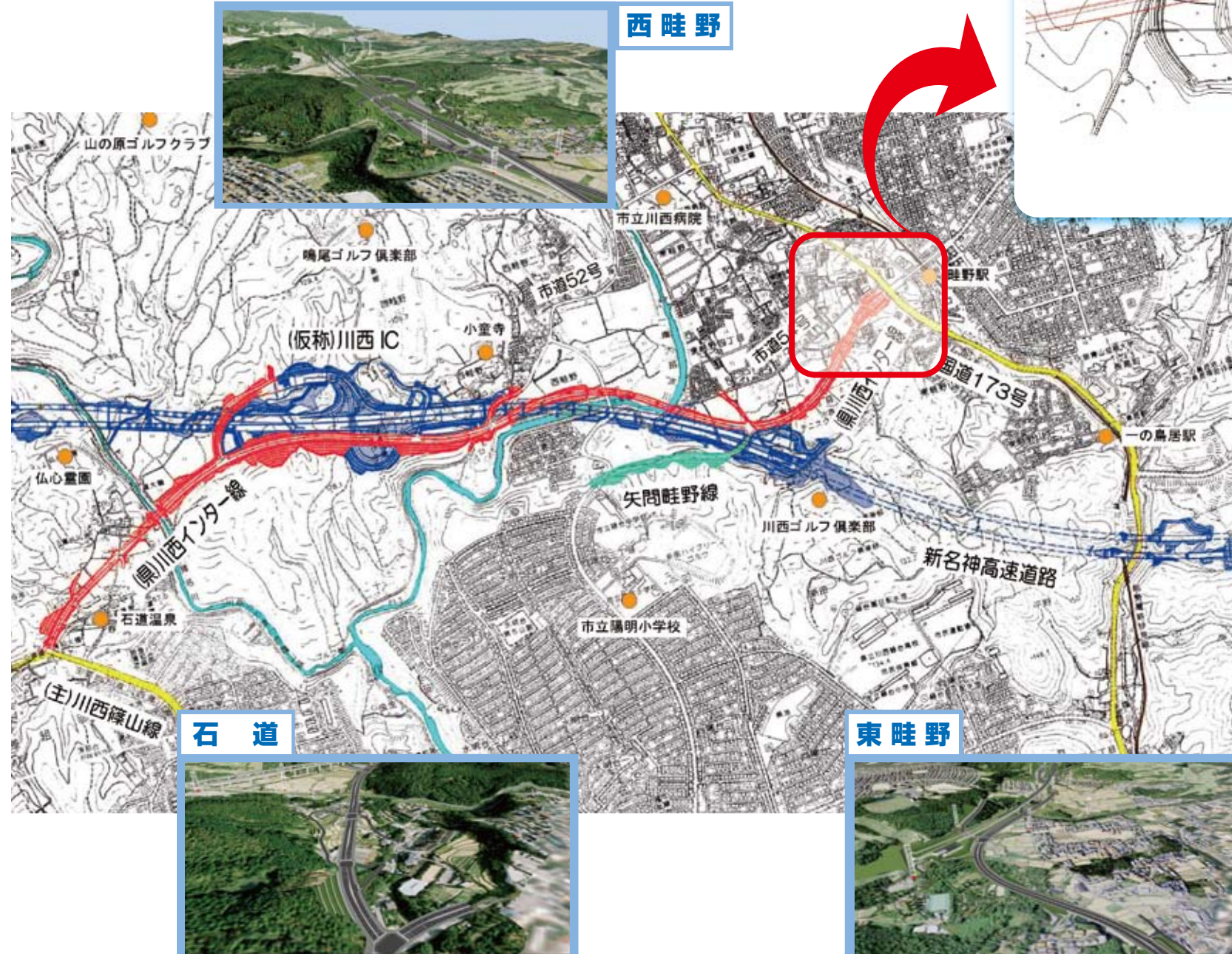
県道川西インター線の整備 ～ 利便性・快適性の向上へ ～

宝塚土木事務所では、新名神高速道路の開通にあわせ平成28年度の完成をめざして、新名神高速道路川西IC（仮称）へのアクセス道路である県道川西インター線の整備を進めています。

川西インター線とは・・・

県道川西インター線は、県道川西篠山線の清和大橋西詰交差点から石道地区、西畦野地区を通過し、国道173号の東畦野交差点までの全長3.3km、幅員26mの4車線道路です。

この道路は新名神高速道路川西IC（仮称）へのアクセス道路という重要な役割を担うほか、川西市内の主要な南北道路である国道173号と県道川西篠山線を東西に結ぶ幹線道路として地域の生活利便性の向上を図ります。



進捗状況

平成23年秋より東畦野地区において源田池の上を通る橋梁工事を予定しており、一部工事用道路が完成しています。

その他の地区においても、用地取得の状況や地域の方々との協議を踏まえ順次工事を進めています。



源田池



工事用道路

川西インター線標準断面図

